



主要施策

(1) デジタル技術等を活用した農芸品の生産性向上

【AOI（アオイ）プロジェクト関連事業費 415百万円】（H29～ほか）

AOI-PARC（沼津市）を拠点に、環境負荷の低減及び生産性・収益性の向上の両立に資する研究開発成果の創出や、産学官金の連携による農業を軸とした関連産業のビジネス展開を推進

【ChaOI（チャオイ）プロジェクト推進事業費 154百万円】（R2～）

静岡県茶業を再生するため、生産者や茶商、観光業や食品メーカー等の多様な分野に携わる人々が連携し、静岡茶の新たな価値の創造や、ドリンク茶や輸出向け有機茶、高級茶などの需要に応じた生産構造への転換等を推進

【施設園芸大国しずおか構造改革促進事業費助成 162百万円】（H30～）

いちごやトマト等の首都圏市場での需要が高い作物の生産拡大を図るため、認定農業者や認定新規就農者が行う施設園芸用鉄骨ハウス等の新設に対して助成

【農業地域生産力強化整備事業費（一般公共） 5,438百万円】（H23～）

茶や果樹、野菜等の高収益作物を対象とした「品目別基盤整備プロジェクト」により、ロボット農機等のスマート農業の実装も可能とする区画整理等を推進するとともに、水田の水管理作業を省力化する「ICT水田水管理システム」の普及拡大により、産地収益力の強化を推進



AOI-PARCで事業者が取り組むイチゴの高速育種



水田における飼料の生産

(2) 農業生産における環境負荷の低減

【県産飼料自給率向上対策事業費（新規） 26百万円】（R6～）

輸入飼料の価格高騰対策として県産飼料自給率を向上させるため、耕畜連携等の取組による輸入飼料から県産飼料への転換モデルを実証

【農業における環境負荷低減推進事業費 109百万円】（H30～）

「静岡県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」等に基づき、有機農業や化学肥料・農薬低減技術の普及や、生産から消費まで一体となった環境に配慮した農産物の生産拡大と消費喚起を推進

【ふじのくにカーボクレジット創出支援事業費 10百万円の内数】（R5～）

農業分野における温室効果ガス削減の取組について、カーボクレジット制度の普及、活用等を支援



茶園へのバイオ炭施用によるクレジット創出

(3) 次代を担う農業経営体の育成

【新規就農者育成総合対策事業費助成 656百万円】（H28～）

研修期間中の研修生及び新たに経営を開始する者に対する資金の助成や、就農後の経営発展のための機械・施設等の導入を支援

【農を支える元気な担い手支援事業費 27百万円】（H7～）

就農相談や農業体験、実践研修等による非農家出身者等の自立就農や、副業として小規模な農業経営を始める者の技術習得を支援するとともに、規模拡大を目指す担い手の幹部人材の確保を支援



首都圏量販店での「頂」フェアの開催

(4) 市場と生産が結びついた「ふじのくにマーケティング戦略」の推進

【国内販路開拓関連事業費 70百万円】（H25～ほか）

「頂（いただき）」（しずおか食セレクション）を活用した県産品のブランド化や、首都圏の高級量販店やホテル、「山の洲（やまのくに）」量販店等との商談機会の創出やフェア開催等を推進

【海外販路拡大関連事業費 908百万円】（H28～ほか）

輸出に対応したHACCP等対応施設の整備支援や事業者と連携した県産品の輸出拡大等を推進

(1) 人々を惹きつける都づくり

【「食の都」づくり推進事業費 49百万円】（H22～）

県産食材の魅力や地域の食文化の情報発信、食の都づくりを牽引する次世代人材の育成等を推進

【「茶の都」づくり関連事業費 208百万円】（H17～ほか）

「茶の都しずおか」の情報発信拠点である「ふじのくに茶の都ミュージアム」の運営や、小中学生の静岡茶の愛飲の取組の推進ほか

【「花の都」づくり関連事業費 35百万円】（R3～ほか）

都市の活力と田園の持つ豊かさに、デジタルを融合させた「デジタル田園都市」のロールモデルを提示する「浜名湖花博2024」の開催、花き経営の持続化支援や花育の推進ほか



浜名湖花博2024の開催

(2) 美しく活力のある農山村の創造

【ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進事業費 32百万円】（H24～）

農村と企業等の連携促進による農村の体制強化や農村の集落機能を補完する持続可能な体制づくりを支援

【グリーン・ツーリズム推進事業費 4百万円】（H22～）

農漁家民泊の開業・運営、農泊地域づくり及び体験型教育旅行の誘致促進を支援



都市と農村の交流